

就任式・始業式・入学式・入寮式

4月8日(月)09:00から就任式、今回の人事異動で26名の新任職員が赴任なさいました。舞台前にずらりと並んだ新任職員の皆さん、時間の関係で短いながらもそれぞれ個性的なご挨拶、そして口々に「(生徒の)皆さんと頑張りたい」「皆さんの支援に力を注ぐ」と共通した決意表明がありました。生徒会長の田場友依登君から「先生方に出会えて本当に嬉しい」さらに「沖水のために尽くしてください」と、これまた個性的な歓迎の挨拶でした。



始業式、私からは先生方(人)との出会いは縁であること。生徒の皆さんにとって縁を活かすこととは「とにかく先生方に、質問をすることだ。多くの疑問をぶつけその答えを自分の成長のために生かすこと」また「2年生はそろそろエンジン全開に、3年生は自己の進路に向かって決して諦めることなく、果敢にチャレンジし卒業式には夢を確実に実現すること」を話しました。

入学式は13:54に新入生が入場、開式は14:00、4月としてはちょっと暑い空気に包まれて本科生240名、専攻科生32名の新入生の少しばかり緊張した、しかし清々しい顔、顔、顔が輝いていました。

本科新入生代表挨拶では、津波古快君が「三月までは、先生方にいろいろ教えてもらってきたが、これからは親元をも離れ自立した一人一人の人間として頑張る。大勢の仲間たちと交流し良い人間関係を築き、沖縄水産高校の生徒として責任ある行動を守る」と力強く、落ち着いた態度と言葉で話しました。専攻科新入生代表挨拶は、漁業科の松堂嘉明君が「航海士を目指すため、同じ目標を持つ仲間たちと切磋琢磨し、船員不足が叫ばれている中で日本の海運業に貢献したい」さらに「高度な知識を修め、志を一つにし、歴史と伝統を重ねてきている本校の名に恥じぬよう頑張る」とあり、会場から万雷の拍手が起こる感動的なスピーチでした。

とても素晴らしい入学式でした。昨年度赴任をさせていただいた私も清新な気持ちになり、さらに頑張ろうと思いを新たにしました次第です。今年度も全校生徒全職員とともに「自主独立・団結融和・実践躬行」の校訓の下「進取の大翼をなみうちて」頑張っていきます。

17:00からは、黒潮寮の入寮式。北は北海道、南は竹富島からの新入生を迎え、夕食の準備中晩ご飯の良においが漂う中でのオリエンテーションでした。今日からいよいよ親元を離れ「同じ釜の飯を食べる仲間たち」とともに生活をするのです。同席する親御さんの表情にも不安の色は隠せません。しかし、三年間の共同生活という誰もが得ることの出来ない経験は、卒業時には彼らを一回りも二回りも大きくしてくれることと信じています。素晴らしいスタッフもいます。保護者の皆さんどうかご安心あれ。